

再評価結果(令和7年度事業継続箇所)

担 当 課:道路局 国道・技術課

担当課長名:西川 昌宏

事業名	一般国道180号 岡山西バイパス (西長瀬～榎津)				事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局	
起終点	自:岡山県岡山市北区西長瀬 至:岡山県岡山市北区榎津						延長	3.5 km	
事業概要									
一般国道180号は、岡山県岡山市北区から島根県松江市に至る延長約180kmの主要幹線道路である。 岡山西バイパスは(西長瀬～榎津)は、岡山西バイパスのうち、西長瀬交差点～榎津東交差点を立体化する延長約3.5kmの事業である。 事業目的は、岡山市中心部の交通混雑の緩和及び交通安全の確保等である。									
R2年度事業化			S53年度都市計画決定 (S57年度変更)			—		R5年度工事着手	
全体事業費		330億円		事業進捗率 (令和6年3月末時点)		約4 %		供用済延長 0.0km	
計画交通量		26,900 ～ 40,700 台/日							
費用対効果分析	B/C	EIRR		総費用 (残事業)/(事業全体)		総便益 (残事業)/(事業全体)		基準年	
	(事業全体)	(事業全体)		265/279億円		1,738/1,738億円			
	6.2	23.2 %		事業費: 248/263億円		走行時間短縮便益: 1,558/1,558億円			
	8.9 [2%]			維持管理費: 16/16億円		走行経費減少便益: 152/152億円		R6年	
	10.9 [1%]			更新費: -/-億円		交通事故減少便益: 28/28億円			
	(残事業)	(残事業)		感度分析	(事業全体)		(残事業)		
6.6	交通量		B/C= 5.3～7.0(±10%)		交通量	B/C= 5.6～7.4(±10%)			
9.4 [2%]	事業費		B/C= 5.7～6.8(±10%)		事業費	B/C= 6.0～7.3(±10%)			
(参考)	11.4 [1%]			事業期間	B/C= 6.0～6.5(±20%)	事業期間	B/C= 6.3～6.9(±20%)		
事業の効果等									
①円滑なモビリティの確保 ・渋滞損失時間の削減が期待される。 ・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 ・総社市～岡山駅へのアクセス向上が期待される。 ・玉野市～岡山空港へのアクセス向上が期待される。 ②物流効率化の支援 ・総社市から岡山港(重要港湾)へのアクセス向上が期待される。 ③都市の再生 ・広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する。 ④国土・地域ネットワークの構築 ・高規格道路「岡山環状道路」の一部として位置づけられている。 ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が期待される。 ⑤個性ある地域の形成 ・岡山市・吉備路(R4観光入込客数:約72.3万人/年)へのアクセス向上が期待される。 ⑥安全で安心できる暮らしの確保 ・岡山市北区高松地区～岡山大学病院(第三次救急医療施設)へのアクセス向上が期待される。 ⑦災害への備え ・岡山県緊急輸送道路ネットワーク計画の第一次緊急輸送道路に指定されている。 ⑧地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が期待される。 ⑨生活環境の改善・保全 ・NOX排出量の削減が期待される。 ・SPM排出量の削減が期待される。 ⑩他プロジェクトとの関係									

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。（〔 〕内は社会的割引率の値）